

【本ガイドブックについて】

短期集中予防サービスは、サービス事業対象者や要支援1・2など生活機能が低下した高齢者のうち、希望される方々に対して、効果的な介護予防プログラムを提供することで、生活機能を改善させ元の生活に戻し（可能な限り元の生活に近づける）、その後は地域の通いの場等で状態を維持することを目指すものです。

本ガイドブックは、短期集中予防サービスの具体的な実施方法について解説しており、構成は、本編と資料編の二分冊となっています。

本編は、短期集中予防サービス提供の目的やプロセス、効果的なサービスの組合せ、運動機能、食事・栄養、口腔機能、認知機能等の基本的なアセスメントの視点、リスク管理の留意点や一定の期間で効果を出すための負荷量を考慮した標準的な運動プログラムの参考例などをまとめています。

資料編は、本編の補足事項や取組の参考となる知識を記載するとともに、事業所や利用者のご自宅で活用いただきたいアセスメントシートの様式などの関係資料を掲載しています。

なお、疾患等を含む利用者の状態像の的確なアセスメント、適切なリスク管理の下での運動負荷量の調整などを行う上で、かかりつけ医やかかりつけ歯科医をはじめ、リハビリテーション専門職、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士などの専門職との連携が重要です。